

2022年9月20日

各位

不動産投資信託証券発行者名

GLP 投資法人  
代表者名 執行役員 三浦 嘉之  
(コード番号：3281)

資産運用会社名

GLP ジャパン・アドバイザーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 三浦 嘉之  
問合せ先 執行役員 CFO 八木場 真二  
(TEL. 03-3289-9630)

### 優先交渉権の取得に関するお知らせ

GLP 投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社である GLP ジャパン・アドバイザーズ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、ブリッジスキームを通じた「GLP 福岡粕屋」（以下「本物件」といいます。）の取得に関して、本日、ブリッジスキーム提供先である SMFL みらいパートナーズ株式会社<sup>1</sup>に対して「購入意向表明書」を提出し、本物件の購入に関する優先交渉権（以下「本優先交渉権」といいます。）を取得しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 本物件の概要

物 件 名 称	GLP 福岡粕屋		
特 定 資 産 の 種 類	不動産信託受益権		
土 地	所 在 地	福岡県糟屋郡粕屋町大字上大隈字部木原 758 番地 1 他	
	面 積	20,525 m <sup>2</sup>	
建 物	建 築 時 期	2022 年 4 月	
	延 床 面 積	41,236 m <sup>2</sup>	
物 件 特 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 九州自動車道「福岡 IC」から約 1.5km の至近の立地</li> <li>■ 地上 4 階建て、耐震・鉄骨造</li> <li>■ 効率的なオペレーションを実現する両面バース、高度なマテハンシステムの導入を見添えて柔軟に設定可能な防火区画、及び十分な電力供給能力を具備</li> <li>■ 国内大手物流企業の専用施設として開発した、EC 物流の広域・エリア配送双方のオペレーションに適した物流拠点</li> </ul>		

<sup>1</sup> ブリッジスキーム提供先（SMFL みらいパートナーズ株式会社）と本投資法人、本資産運用会社及び GLP グループとの間に、資本・人的関係はありません。なお、GLP グループとは、本投資法人のスポンサーの親会社である GLP Holdings Limited 及びそのグループ会社のことをいいます。

## 2. 本優先交渉権取得の背景・理由

本投資法人は、外部成長戦略として、スポンサーである GLP キャピタルパートナーズジャパン株式会社（以下「GLP」といいます。）の開発物件と第三者物件の取得によるポートフォリオの質と収益性の向上の両立を企図した資産規模の拡大を目指しています。

今般、本資産運用会社は、Optimal Takeout Arrangement（OTA）によるブリッジスキーム<sup>23</sup>を活用し、GLP が開発した本物件の購入に関する優先交渉権を新たに取得しました。

本優先交渉権の取得は、本投資法人の安定的な収益を生み出す、優良な先進的物流施設の取得機会の確保を企図するものであり、本投資法人が優先交渉権を有する物件数は、本物件を含めて合計 10 物件となります。

## 3. 今後の見通し

本優先交渉権の取得による本投資法人の運用状況及び分配金の予想に与える影響はありません。

以 上

\*本投資法人のホームページアドレス：<https://www.glpjreit.com>

---

<sup>2</sup> 本投資法人は、優先交渉期限までの期間において、本資産運用会社が指定するタイミングで、取得する時期によっては取得価格を一定程度逡減する価格で物件を取得する機会を持つことのできる取り組みを「Optimal Takeout Arrangement (OTA)」と称しており、ブリッジスキームのひとつとして位置づけしております。なお、本資産運用会社は、優先交渉期限までの随時の時期に本物件を取得すべく、本優先交渉権を行使することが可能ですが、実際に本優先交渉権を行使し取得を決定する際には、その時点における J-REIT 投資口価格等の市場環境等を勘案した上で行使することを企図しており、最終的に本優先交渉権を行使しない可能性があります。

<sup>3</sup> 今回の OTA は、売買契約締結を伴わない、優先交渉権の取得のみのスキームであり、金融庁の定める「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」に規定されるフォワード・コミットメント等（先日付での売買契約であって、契約締結日から 1 ヶ月以上経過した後に決済・物件引渡しを行うことを約する契約）には該当しません。